

Independence 01

市立札幌開成中等教育学校 発展期通信

発行：2024年4月8日

発展期！新たなステージへ！

“発展期”だからできること

みなさんこんにちは。今年は雪解けが遅く、グラウンドの雪もようやく溶け始め春の足音が聞こえてきました。あっという間に春休みが終わり、いよいよ新学期が始まります。みなさんが元気に登校する姿を見ることができ一安心しています。

さて、「3つの期（基礎期・充実期・発展期）」を強く意識した体制になって4年が経ちました。発展期といえば、進路実現を意識していくことになりませんが、進路を実現できる人とできない人との意識の差は何だと思いませんか？それは「自分の在り方＝自分はどう在りたいのか？」と「本番を意識＝試験当日の自分の姿をイメージしているか？」の2点だと思います。VUCA時代（不確実で予測困難な時代）を生きていくみなさんは予測困難な時代においても自分の中にしっかりとした“柱（在り方）”を持ち、可能な範囲で“未来（本番）”をイメージし、現実とのギャップを臨機応変に埋めるしなやかさが求められています。

発展期では担任との2者面談を通して「自分の在り方」を言語化する「自優トーク」という取組を実施します。また、5・6年合同で同じ進路を目指す仲間が集まり「キャリアコミュニティー」を結成し、本番へのイメージをより明確なものへとしていきます。その他にも5・6年の異学年が合同だからできる発展期オリジナルの取組が多数用意されています。“発展期だからできること”、それは“異学年合同”で将来について考え“自分ごと化”することだと思います。みなさんが前に進むことを発展期スタッフ全員でサポートします。1年間よろしくお祈いします。

発展期主任 島本 史也

■発展期スタッフの自己紹介■

1.名前 2.教科 3.最近うれしかったこと 4.メッセージ

<発展期主任兼 5-3 副担任>

1. 島本 史也
 2. 数学
 3. 今年もランニングシューズを新しく買ったこと。
 4. 発展期はいろいろな経歴をもった先生方が大勢います。ぜひみなさんから積極的に話しかけてみて下さい。私もみなさんへ積極的に話しかけていきますので、楽しくお話ししましょう！
- 1年間よろしくお祈いします。

<発展期副主任兼 6-3 副担任>

1. 宮島 幸樹
2. 数学
3. 娘が「いつも頑張っているね。」って言って、胸にすみっこのシールを貼ってくれたこと。
4. 8期の皆さん今年もよろしくお祈いいたします。8期の皆さんの卒業を、発展期の一員として見届けられることを嬉しく思っています。そして、9期の皆さん初めまして。9期の皆さんとお話できる日を楽しみにしています。チーム発展期へようこそ！

<p><5-1 担任></p> <p>1. 鈴木 綾 2. 社会</p> <p>3. また開成の皆と過ごせること。1年間学校を離れていたとはいえ、4月を心待ちにしていました。</p> <p>4. 最近、進路を決めることって自分に向いていないことを削っていくことではなく、自分がやりたいことや大切なものを掴み取っていくことだと思えるようになりました。ただ、そのためには経験を重ねることが大事。ぜひ経験を取りに行ってください！</p>	<p><5-2 担任></p> <p>1. 堺田 倫恵 2. 理科</p> <p>3. 新年度スタートして職員室での輪が広がったこと。職員室には個性があふれています！娘が「お母さん仕事頑張って！」と毎日言ってくれること(感激涙多量)</p> <p>4. 開成に来て2年目。さらに飛躍できる年になるよう頑張ります。9期生を引き続きサポートさせていただきます！8期生の頼もしい背中に期待☆</p>
<p><5-3 担任></p> <p>1. 細川 亮祐 2. 保健体育</p> <p>3. 1年生の時から一緒に10期生と3年間過ごせたこと。</p> <p>4. この学び舎で過ごせる時間もあと1年、2年。時間を大切に、今できることを本気でやろう！情熱をもってみんなのサポートをしていきます。宜しくお願いします！</p>	<p><5-4 担任></p> <p>1. 沼田 知紘 2. 理科 (地学)</p> <p>3. 北海道に無事？戻れたこと 着任校が開成中等教育学校だったこと 子供の卒園・入学</p> <p>4. 千葉で教員をしていて、札幌に戻ってきました。皆さんの発展期での学びの力になれるよう、微力ながら尽力したいと思っています。一緒に頑張りましょう！</p>
<p><6-1 担任></p> <p>1. 中村 正人 2. 英語</p> <p>3. 4月1日に着任したときに、多くの教職員の方々から温かく接してもらえたことです。</p> <p>4. 15年ぶりに開成に戻ってきました。学校のありようは大きく変わりましたが、校舎まわりを含め、やはり「開成」です。安心しました。話は変わりますが、うさぎ好きの人、ぜひ話しかけてください。</p>	<p><6-2 担任></p> <p>1. 高松 勇輔 2. 社会科</p> <p>3. 娘から、「ママよりパパが好き」と言われたこと。(2024年3月30日現在)</p> <p>4. 9期の皆さんは、発展期での取組やプロジェクトをぜひ楽しみましょう！8期の皆さんは、開成最後の1年を後悔のないように過ごしてくださいね。 Time waits for no one.</p>
<p><6-3 担任></p> <p>1. 藤原 國晃 2. 国語</p> <p>3. 見学旅行で1週間近く家にいなかった間、高校生の双子の息子と中学生の娘が急に自立して、ボクの助けを必要としなくなったこと。</p> <p>4. 6年次の皆さんにとっては、これまで開成中等で身につけたスキルを最大限発揮して自分の夢に向かう第一歩を踏み出す時です。自分を信じて前へ進みましょう、ボクはいつも皆さんの側にいます。</p>	<p><6-4 担任></p> <p>1. 細井久美子 2. 理科 (化学)</p> <p>3. 8期生の成長をいろんな場面で見ることができて嬉しかった！</p> <p>4. 9期生はいよいよ発展期！8期生はラスト開成YEAR！学ばば学ぶほど、挑戦すればするほど、自分が何も知らなかったことに気づくことができます。失敗してもいい！何事もチャレンジ！皆さんの自己実現を応援しています！</p>

<p><5-1 副担任></p> <p>1. 林 詩音 2. 数学</p> <p>3. ・だまされたと思っておすすめされたりんご飴を買ってみたら、予想よりも美味しかったこと。 ・発展期の先生方がとても優しいこと。</p> <p>4. 今年度から開成に来て、まだまだわからないことばかりなので、たくさん教えてください！ みなさんと一緒に学ぶことにわくわくしています。これからよろしくお願いします！</p>	<p><5-2 副担任></p> <p>1. 幡本 将典 2. 地歴・公民</p> <p>3. 娘が無事高校生になったのがうれしかったです。</p> <p>4. 今年度は副担任として発展期のみなさんと楽しんでいきたいと思います。5, 6年生の皆さん、気軽に声をかけてください！</p>
<p><5-4 副担任></p> <p>1. Rakesh Dixit 2. 英語</p> <p>3. I have not seen my sons in a long time, but they will visit Sapporo in June.</p> <p>4. Even though you will be very busy this year, enjoy these precious high school days with your friends and make great memories!</p>	<p><6-1 副担任></p> <p>1. 松澤 剛 2. 地歴・公民・社会</p> <p>3. 日経ストックリーグで表彰されたこと</p> <p>4. 5年次の「政治・経済」2クラス担当です 皆さんからエネルギーをもらいながら、一緒に学んでいきたいと思いますのでヨロシク</p>
<p><6-2 副担任></p> <p>1. 林 恵子 2. 国語</p> <p>3. 2月に手首と大腿骨を骨折し、2か月近く入院しましたが、何とか退院し、学校に戻ってくることができました。ああよかった～</p> <p>4. 自分に自信を持つことと謙虚であること、他人と比べないことと切磋琢磨すること、受験勉強と本来的な学問、これらは一見矛盾するようですが、両者を統合できると進路希望は実現します。</p>	<p><6-4 副担任></p> <p>1. 今野 秀樹 2. 保健体育</p> <p>3. JALのファーストクラスを堪能できたことかな。</p> <p>4. 無限の問いにこたえつつ、穏やかな日々を過ごし、ゆっくり成長していけるよう皆さんと開成生活を楽しんでいきたいですね！よろしくお願いします。</p>

総勢16名のスタッフで、力を合わせて頑張っていきます。生徒の皆さん、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

☆保護者の皆様へのお願い☆

欠席・遅刻の場合は、保護者の方が8:10までにすぐーるで連絡をお願いいたします。

※学年直通電話 1・2組:011-788-6985 3・4組:011-788-6984

学校代表 011-788-6987

9期生、5年ぶりの海外見学旅行へ

3月6日、9期生145名は5泊6日の日程で台湾を訪れました。この見学旅行は、現地交流校との授業交流や台北市内研修での体験を通して、発展期で行う研究課題や課題論文の課題発見やテーマ構築に向けた知見を得るとともに、異なる言語文化の人々とコミュニケーションを行うことで、言語表現やその背景となる多文化理解についてグローバルな感覚を身につけることを目的としています。また「Think globally, act locally」を意識し、自国と異なる文化に触れることで得た経験を、帰国後の過ごし方や人との関わり、キャリアといった身近な生活に役立てる機会とするものでもあります。

台湾では、中正紀念堂や龍山寺、故宮博物院、九份といった歴史や文化を体感できる様々な地を訪れるとともに、新竹サイエンスパークなど自分の興味関心に基づいたコース別研修、そして現地の大学生とともに台北市内を自由に巡り、台湾の現在に触れながら様々な食文化を楽しむことができました。



特に、旅行3日目に実施された高校交流では、西松高級中学(18校)と国立師範大学高級中学の2つに分かれ、英語で研究紹介を行い、ランチ交流を通じて友好を深めました。

さて、十份で揚げたランタンに皆さんはどんな願いを書きましたか？発展期での生活も始まり開成での学びも残り2年です。皆さんの将来への希望が空高く舞い上がっていくことを私たち発展期スタッフ一同、願っています。

